



《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 岱明町公民館支館事業 支援業務	支館活動を通したまちづくり の支援を行う。	支援支館数	支館	4	4	4	4
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 スポーツ実施委員会主催大会参加人数	参加者数	人	2,000	2,000	2,000	4,000
			2,125	4,100	4,100	
2 支館独自事業実施回数	支館が開催した事業の回数	回	6	6	6	6
			6	6	6	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等 他の団体では実施できない事業か。	健康増進と地域連帯意識の向上を図 るうえで、各スポーツ大会を盛り上 げ、円滑に運営するために、市の人的 支援は不可欠である。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が 薄れていないか。	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる 等の影響があるか。	
有効性 (判定) B	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) B	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地 はないか。	支館活動を通じて地域交流を活性化 し、市民の健康や体力の増進、自主的 なまちづくりによる郷土愛の醸成を図 り、地域社会の活性化と連帯意識の向 上につながるような活力あるまちづくり の支援を拡充していく。
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ 以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプ ロセスはないか。	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、こ れ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地は ないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性 【31】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改 善の具体的内容	支館活動事業の大半はスポーツ競技との関わりが多いが、これからの支館活動の支援をスポーツ競技のみならず、色々な特色ある活動や地域の独自性ある活動を行政との協働で実施することが必要である。今まで以上に活発な地域活動を展開するうえで、支館活動は特に重要なものであることから、支館活動委託事業の予算増額による事業拡充について検討する。
昨年からの見直し・改善状況 【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	参加者の増加を図る必要であるが、各支館活動の充実は不可欠であり、そのためには、地域づくり関連の他事業との調整や連携を実施するためにも、行政の支援が必要であると考え。	評価責任者 坂本 政輝
----------------------	--	----------------